



令和3年度早川南小学校だより



はるき



令和3年10月15日

No.23

校長 河西 弘明



楽しく全校遠足に行ってきました！



先週金曜日の10月8日に、秋の遠足に行ってきました。今年は全校でバス遠足の年でした。運動会から一週間も経っていませんでしたが、児童たちは疲れも見せず元気に楽しんでいました。

今年の行先は、県立考古博物館と県立博物館の2カ所でした。2カ所といっても、見るものや体験できることなどが盛りだくさんで、楽しみながらもとても勉強になることが多くありました。

午前中は、考古博物館です。着いてすぐに、博物館のシンボルでもあるナウマン象の前で記念写真を撮りました。遠く いにしえ 古の時代に、わたしたちを誘ってくれる立派な像です。博物館の中には、県内で出土された石器や土偶など貴重な展示物がずらりと並べられています。全員で、学芸員の方から説明を聞いた後は、低学年は、風土記の丘・曽根丘陵公園に行って遊具で遊びました。高学年は、さらに特別展と竪穴住居を見学し、山梨県内で昔の人々がどのような生活を送っていたのか、思いを馳せました。

その後はまた、風土記の丘にある研修センター前で合流して、全員で「火



おこし体験」をしました。色組の中でグループを作り、グループ内の上級生と下級生とで役割を決めて協力して、頑張って火をおこしました。

どのグループも協力体制がばっちりて、全部のグループで火をおこせました。今では簡単に火を使うことができます



すが、昔の人の知恵と工夫と苦労を知ることが出来たのではないかと思います。

そこから歩いて、公園内にある、少し秋めいた木立に囲まれた野原に行き、これも色組ごと車座になり、お待ちかねのお弁当の時間となりました。ここでも、6年生たちが優しく声をかけてくれ、「みんな！真ん中を向いて食べよう!」とか「一緒にあいさつするよ!」などと、しっかりと面倒を見ている姿には、本当に感心しました。ふたを取ると、家の方が心を込めて作ってくださったお弁当に、どの子からも笑顔がこぼれていました。子どもたちのそんな笑顔もおかずにしながら、私たちも秋晴れの下で、お昼をいただきました。

午後は、バスで移動して博物館に向かいました。お弁当エネルギーを補充したので、午後の見学でも元気いっぱいに活動していました。博物館でも、学芸員の方が色組ごとについてくださって、館内をとてども丁寧に説明しながら案内してくださいました。先生方からも「勉強になった!」と関心の声上がる、わかりやすい説明でした。

博物館内で、子どもたちが夢中になって取り組んだのは、ワークシートを使っ
ての「ジオラマ人形探し」でした。約200年前(江戸時代)の甲斐の国に住む人々の



白組はちょっと小さな門で！ 赤組は大きな門になって！ おいしいおいしいお弁当！

暮らしの様子が、小さな人形や道具で表現された小さな町のセットをのぞき込みながら、上級生と下級生で協力して探していました。見つけると、「あった!」と嬉しそうな声があがっていました。楽しみながら勉強できる、とても良いワークシートでした。



この全校遠足を通して、低学年も、高学年も、全員がまた一つ成長しました。良い思い出が作れた日になりました。



このバスで！こんないわし雲の下で行ってききました→

